

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公表番号】特表2017-514328(P2017-514328A)

【公表日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2016-552633(P2016-552633)

【国際特許分類】

H 04 M	11/00	(2006.01)
H 04 W	8/22	(2009.01)
H 04 W	8/24	(2009.01)
H 04 M	1/00	(2006.01)
H 04 W	64/00	(2009.01)

【F I】

H 04 M	11/00	3 0 2
H 04 W	8/22	
H 04 W	8/24	
H 04 M	1/00	R
H 04 W	64/00	1 7 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月26日(2018.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信デバイスにおいて複数のモードを自動的に制御するための方法であって、

ワイヤレスアイデンティティ送信機から信号を受信することと、ここにおいて、前記ワイヤレスアイデンティティ送信機から信号を受信することは、前記ワイヤレスアイデンティティ送信機が、前記ワイヤレス通信デバイスの定義された近接内にあることを示し、

前記ワイヤレス通信デバイスのロケーションを識別するジオフェンス・イベントの通知を受信することと、

前記示されたワイヤレスアイデンティティ送信機へ前記ワイヤレス通信デバイスの前記ロケーションを適用することによって、第1のオペレーティング・モードを決定することと、

前記第1のオペレーティング・モードに関連付けられたオペレーティング特性のセットを識別することと、

前記ワイヤレス通信デバイスにおいて、前記関連付けられたオペレーティング特性のセットを実施することによって、前記ワイヤレス通信デバイスの動作を、前記第1のオペレーティング・モードへ切り替えることと、

を備え、

前記第1のオペレーティング・モードが、少なくとも1つのモード制御能力に関連付けられているか否かを決定することと、ここにおいて、各モード制御能力は、前記第1のオペレーティング・モード以外のモードを選択するためのユーザ制御のレベルを定義する設定を備え、

前記第1のオペレーティング・モードが、少なくとも1つのモード制御能力に関連付けられると決定することに応答して、新たなモード制御能力へ切り替えるか否かを決定することと、

を備えることを特徴とする、方法。

#### 【請求項2】

前記ワイヤレス通信デバイスの動作を、前記第1のオペレーティング・モードへ切り替えることは、

前記ワイヤレス通信デバイスの現在のオペレーティング・モードに少なくとも部分的に基づいて、前記ジオフェンス・イベントおよび前記ワイヤレスアイデンティティ送信機が、前記第1のオペレーティング・モードへの自動モード切替に関連付けられているか否かを決定することと、

前記ジオフェンス・イベントおよび前記ワイヤレスアイデンティティ送信機が、前記第1のオペレーティング・モードへの自動モード切替に関連付けられていると決定することに応答して、前記ワイヤレス通信デバイスの前記現在のオペレーティング・モードを維持することと、

を備える、請求項1に記載の方法。

#### 【請求項3】

新たなモード制御能力へ切り替えるか否かを決定することは、

前記第1のオペレーティング・モードに関連付けられた前記少なくとも1つのモード制御能力を識別することと、

前記少なくとも1つのモード制御能力が、前記第1のオペレーティング・モードに関連付けられた複数のモード制御能力を備えているか否かを決定することと、

前記少なくとも1つのモード制御能力が、前記第1のオペレーティング・モードに関連付けられた複数のモード制御能力を備えていると決定することに応答して、前記示されたワイヤレスアイデンティティ送信機と前記ワイヤレス通信デバイスの少なくとも前記ロケーションに基づいて、第1のモード制御能力を識別することと、

前記少なくとも1つのモード制御能力が、複数のモード制御能力を備えていないと決定することに応答して、前記第1のモード制御能力を、前記第1のオペレーティング・モードに関連付けられた前記1つのモード制御能力として識別することと、

を備える、請求項1に記載の方法。

#### 【請求項4】

新たなモード制御能力へ切り替えるか否かを決定することはさらに、

前記識別された第1のモード制御能力を、前記ワイヤレス通信デバイスにおいて現在実施されているモード制御能力設定と比較することと、

前記識別された第1のモード制御能力が、前記現在実施されているモード制御能力設定に対応していないと決定することに応答して、前記第1のモード制御能力へ切り替えることと、

を備える、請求項3に記載の方法。

#### 【請求項5】

前記第1のオペレーティング・モードに関連付けられた前記オペレーティング特性は、ユーザ許可、ユーザ制限、前記ワイヤレス通信デバイスにおける命じられたコンテンツ記憶ロケーション、および、前記ワイヤレス通信デバイスにおける通信のための命じられたサブスクリプションのうちの少なくとも1つを備え、

前記第1のオペレーティング・モードに関連付けられた前記オペレーティング特性のセット、および、前記第1のモード制御能力に関連付けられたモード制御能力設定は、企業によって生成される、請求項4に記載の方法。

#### 【請求項6】

前記ワイヤレスアイデンティティ送信機から信号を受信することはさらに、前記ワイヤレスアイデンティティ送信機に関連付けられた少なくとも1つのコンテキストを示し、ここにおいて、前記少なくとも1つのコンテキストは、第2のロケーションを前記ワイヤレ

スアイデンティティ送信機へ適用することが、第2のオペレーティング・モードを決定するような、少なくとも1つの前記第2のロケーションに適用可能である、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記第2のオペレーティング・モードは、前記第1のオペレーティング・モードのサブ・モードを備える、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

カレンダ・アプリケーションによってスケジュールされたアポイントメント、時間ベースの制約、日付ベースの制約、および遠隔デバイスから受信した信号、からなるグループから選択されたアポイントメント追加トリガ・イベントの通知を受信することをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記示されたワイヤレスアイデンティティ送信機および前記ワイヤレス通信デバイスの前記ロケーションへ前記追加トリガ・イベントを適用することによって、前記第1のオペレーティング・モードの第2のオペレーティング・モードを決定することをさらに備える、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記第1のオペレーティング・モードに関連付けられた前記オペレーティング特性のセットを識別することは、

前記第1のオペレーティング・モードに関連付けられた前記オペレーティング特性が、前記ワイヤレス通信デバイスにおけるメモリ内に記憶されているか否かを決定することと、

前記第1のオペレーティング・モードに関連付けられた前記オペレーティング特性が、メモリ内に記憶されていないと決定することに応答して、前記第1のオペレーティング・モードに関連付けられた前記オペレーティング特性のセットを取得するための要求をサーバへ送信することと、

を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項11】

請求項1乃至4、または請求項10のいずれか1項に記載の方法を実行するための手段を備える、ワイヤレス通信デバイス。

【請求項12】

無線周波数トランシーバと、

前記無線周波数トランシーバに結合され、請求項1乃至10のいずれか1項に記載の方法を備える動作を実行するための、プロセッサ実行可能な命令で構成されたプロセッサと、

をさらに備える、請求項11に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項13】

請求項1乃至4、または請求項10のいずれか1項に記載の方法を備える動作を、ワイヤレスデバイスのプロセッサに実行させるように構成されたプロセッサ実行可能な命令を記憶した、非一時的なプロセッサ読み可能な記憶媒体。